

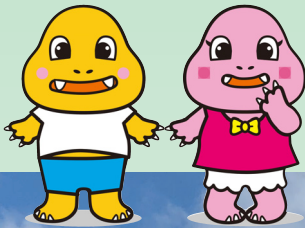


かつやま 5月臨時会・6月定例会報告
2020.7.22

議会だより No.76

【 おもな内容 】

特集 新型コロナウイルス対策	p 2
代表質問・一般質問Q&A	p 4
常任委員会・特別委員会報告	p 6
令和元年度政務活動費報告	p 8
臨時会・定例会結果報告	p 9
かつやまピックアップ等	p10



道の駅 恐竜溪谷かつやま



コチラから↑
議会中継動画は

特集

議会と行政

力を合わせて新型コロナ対策

―コロナに負けない勝山!!―



市議会議長 松山 信裕

新型コロナウイルスが世界中に広まり、その感染拡大により、誰もがいつ感染をしてもおかしくない事態になり、勝山市も感染防止、地域対策に追われました。県内でも多くの感染者が出ましたが、勝山市においてこれまでに1人も出なかったことは市民の皆様のご協力の賜物であると、議会を代表して心より感謝申し上げます。

勝山市議会としては、3月に策定した勝山市議会における災害発生時等の対応要領に基づき、4月早々に県内でも一早く「災害対策支援本部」を立ち上げました。

緊急事態においては、スピードを重視し、市民の皆様の要望などを取り上げ、的確に対応策を講じることが第一です。そのような中、本来なら議決を要する「かつやまっ子元氣応援臨時交付金」などを専決処分として認め、また議会からの提案により高校生以上の支援策として「特別貸与奨学金」制度枠の創設や、議員が自ら身を切ることも提案し、期末手当を20%カットして支援金とすることも決めました。

今後は、コロナ後の経済のことなども視野に入れながら、勝山市の将来に向けて頑張っ参ります。よろしくお願い申し上げます。

期末手当20%削減を決定！

未来の勝山市を支える”赤ちゃん”に 希望を託して 10万円支給！

5月の臨時会におきまして、市議会議員と市三役の令和2年6月支給の期末手当を20%減額することを決定しました。その財源の活用方法についてはさまざまな議論を重ね、国の特別定額給付金を受け取ることができなかった4月28日以降令和3年3月31日までに生まれた赤ちゃんなどに1人あたり10万円を支給することとしました。

支給手続きの方法など、詳しくは市役所総務課（☎88-1116）にお問い合わせください。



市議会では、勝山市議会災害対策支援本部を設置し、新型コロナウイルス感染症対策に関する議論を交わし、市に対してさまざまな意見や提案を行いました。



議会で出された さまざまな 意見・提案

各会議では、座席の間隔を空け、窓を開けて換気しながら密にならないようにしています。

医療機関等への物品配布

新型コロナウイルスは、毒性こそインフルエンザ程度ですが、それ以上に未知であることと、感染者の拡大による医療崩壊が懸念されてきました。市では医療崩壊を回避するべく、マスクやフェイスシールド、消毒用アルコール、防護衣等不足する物品の配布を行い、医療体制の維持を念頭に対応してきました。しかし、現在では国民が感染等を恐れて医療機関を敬遠し、その結果、医療機関の経営難を招くという違う形の医療崩壊リスクが広がっています。議員からは、「新たな医療崩壊を阻止するためにも支援を徹底した上で、勝山の医療体制は安全である」と広報する必要があります。」との意見が出ました。

一部返還減免付き 特別奨学金制度が新設！

議員から「市内の中学生以下の子どもたちに一律6万円を支給することを受けて、その対象外である高校生や大学生にも支援が必要ではないか。」との意見が出ました。これを受けて、市では市内の高校生や大学生などが安心して学業に取り組めるよう特別奨学金を設定しました。12万円の無利子貸し付けで、返還は半額の6万円（残りの半額は減免されます）という内容です。

勝山ニューホテルを活用すべき

4月9日から営業自粛に入っていた勝山ニューホテルについて、何か活用できないかとの議会からの提案において、市は県の新型コロナウイルス感染症対策の補助として、医療に従事する福井勝山総合病院の医師・看護師を一定期間、ホテルに滞在できるように調整しているとのことでした。しかし結果として、勝山市では1人も感染者が出なかったため、利用する医療従事者はありませんでした。

市議会として国や県に対しての要望も重要！

地方自治体は各地域の状況に応じた感染防止対策と、行動自粛要請による売り上げが減少した会社・個人事業者や市民に、地域の状況に応じた細やかな救済政策を立案して執行するものだが、財源や政策は、国・県・市町行政でのすみわけが必要です。国の対応の遅れなどで、緊急措置として、市は財政調整基金の活用などが行われる中で、議員からは「今回の新型コロナウイルス感染症防止対策費用と行動自粛要請の補償は、国が予算を組み政策と執行を早急にすることが基本であるという認識の下で、国や県に対して市民救済の費用の早急な要望が必要だ。」との意見が出ました。

学校休校に伴って

児童生徒の家庭訪問の面談方式を実施することについて、「児童生徒と教師双方の感染リスクを減らすため電話等による状態や状況把握ではどうか。」との意見が出ました。教育長からは、「週に1回程度の家庭訪問は、児童生徒の健康状態や学習状況を把握するためには必ず直接面談が必要であることから、教師はマスクを着用し、児童との間隔を空け、玄関で行うなど3密を避けることで実施する。」との回答を得ました。

その他に各議員から出された意見など

- ・観光客に向けた対応
- ・勝山の繊維でマスクを作り、全国に発信する支援をしてはどうか
- ・相談窓口が分かりづらい

ほか

新型コロナウイルスの影響による市の姿勢について

竹内和順議員
新風会・公明代表

問 勝山市内から新型コロナウイルス感染者を一人も出さなかったことは、首長たる知事、市長のもと、県民市民の皆さんが一丸となったことと考える。

答 今後、感染が長引くという厳しい現実を踏まえて、アフターコロナ時代において、地方自治の役割について市の見解を伺う。

問 勝山市内から新型コロナウイルス感染者を一人も出さなかったことは、首長たる知事、市長のもと、県民市民の皆さんが一丸となったことと考える。

答 新型コロナウイルスのワクチンも治療薬もないなかで、市民生活を守るためにやるべきことは、ウイルスを感染させない、蔓延させないこと。全国の市町が行っている支援策は、いわば対症療法であって根源的な解決策ではない。感染させないための「新しい常態」として甘受しなければならぬのであれば、考え方の概念が根本的に変わる「パラダイムシフト」が起きる可能性が大きくなると考える。テレワークによって変わる人の流れを地方に誘導することやAIの活用など、新しい地方の時代を作ることができないかと、希望的観測をしている。

問 アフターコロナの世界は、「地方が主役」の時代になると言われている。

答 政府による1万人ネット調査の結果では、東京圏以外の地方で暮らすことに関心を持っているとの回答が全体の49・8%を占め、若い層ほど関心が高い傾向もあるとのこと。勝山への移住策を強化する良い機会だと思うが、市の見解を伺う。

問 テレワークが社会に定着し、居住地に縛られない新たな働き方への理解が広がっている。これを地方移住が進むひとつの契機と捉え、勝山暮らしに興味を持つ層とのつながりを広げていきたい。

答 「移住者スカウトサイト」の利用を開始し、全国の移住希望者への情報発信とマッチングによる移住定住の促進や、本年度創設した「ふるさと回帰U・イターン奨励金」による支援も行う。

代表質問Q&A

今後の観光政策について 財政調整基金のあり方について

丸山忠男議員
市政会代表

その他の質問

- ・新しい生活様式の対応について
- ・新型コロナウイルスが与える教育環境について
- ・IT教育、ICT教育について

ほか2項目

問 勝山市はこれまで、恐竜博物館を中心に恐竜を柱とする観光政策を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために博物館の休館を余儀なくされ、現在のところ地域経済に影響が出はじめている。勝山市の今後の観光戦略について伺う。

答 これまでの観光事業は、多くの人を特定の場合へ集めることに主眼を置き、来訪者数や宿泊者数を上げて観光消費額を上昇させることを目指してきた。

問 しかし、今後は少人数またはファミリーで、ゆったりと他では得られない経験で顧客満足度を高め、観光客一人ひとりにより多くの金額を消費してもらう方向へシフトする必要があると考えている。

答 令和2年度は2億8800万円を取り崩すこととしているが、令和元年度からの繰越金のみを考慮しても令和2年度末残高は12億6000万円余り確保できると見込んでいる。今後は、国の交付金の増額要望や補正予算を有効に活用するなど最大限の財源確保に努めていく。

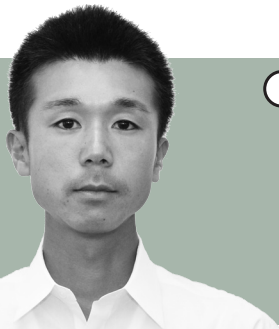
問 勝山市はコロナ禍において、市民に対する財政支援のために色々と有効的に4月以降、6月補正まで何回かの専決を通じて財政調整基金からの繰り入れを行ってきたところ、その金額が1億9000万円を超えていると思われる。今後の財政運営を考慮して財政調整基金の残高をどの程度必要と考えているのか。

答 財政調整基金は「標準財政規模の10%程度」が望ましいとされている。当市の令和元年度標準財政規模は68億8200万円、残高の目安は約6億9000万円余りとなるが、現状は14億2200万円と、目安の金額以上を確保している。

問 令和2年度は2億8800万円を取り崩すこととしているが、令和元年度からの繰越金のみを考慮しても令和2年度末残高は12億6000万円余り確保できると見込んでいる。今後は、国の交付金の増額要望や補正予算を有効に活用するなど最大限の財源確保に努めていく。

答 財政調整基金残高の視点のみから判断した場合、更なる新型コロナウイルス感染症予防対策や新たな時代へのチャレンジにも対応できる最低限の体力はあると確信している。

中山光平
議員
市民の会代表



○新しい生活様式の見直し提案と、感染者が出た場合の対策強化案

問 勝山市版「新しい生活様式」感染防止の3つの基本のうち、①「人との間隔は1m以上を確保」は、社会活動に過剰な制限がかかることを理由に見直しを提案したい。

①は主に接触感染、飛沫感染の対策と思われるが、仮に罹患者に接触してもその手で自分の粘膜（目、鼻、口等）を触らなければ問題なく、飛沫に關してもマスク等していれば隣同士で話しても問題ない。①は明らかに過剰である。

また感染対策だけでなく、これからの社会活動にも影響を与える。例えば、タクシーは運転手と対角に座っても1m確保することは難しく、介護施設等の送迎に關しても、①を適用すると送迎の回数も増え、更なる負担を強いることになる。飲食店においても本来の客数を大きく下回る中での営業を求められる。

この様な状況では自粛があけたとしても、まともな社会生活を送ることができない。

以上を前提に、市民への理解を進めるために勝山市版「新しい生活様式」の見直しをする意思はあるか。また、その際には感染経路の遮断という理にかなった様式が望ましいが、市の見解を問う。

答 新型コロナウイルスに対するワクチンも効果的な治療薬もない中、当市では、市内から感染者を出さないことを目指して、国の新しい生活様式や県の行動指針をベースに、「人との間隔を1m以上確保」「マスクの着用、咳エチケットの徹底」「こまめな手洗い、手指等の消毒」を感染防止の3つの基本として、勝山市版「新しい生活様式」を策定した。

感染経路を断つことを重視し、感染防止の3つの基本等により、市民を感染症から守り、医療体制や地域経済活動の維持につなげるため、市民に勝山市版「新しい生活様式」に則した行動を強く要請し、ご理解とご協力をいただきたいと考えている。

一般質問Q&A

久保幸治
議員
日本共産党



○文化団体・芸術活動家への支援について ○国民健康保険税の(減税・減免による)値下げについて

そのほかの質問

- ・生活困窮者救済のための緊急な支出金の準備について
- ・地方行政・地方自治体から国・県への要望について

問 新型コロナウイルスの感染拡大で、全国では演奏会等の文化イベントが軒並み中止や延期に追い込まれている。市内のプロ、セミプロの演奏家やピアノ教師の経済的損失は、市内の業者と同様である。

市内の文化芸術の担い手を非常事態から救うことを念頭に、その支援をする必要性と文化芸術活動再開に向けた指針と支援策を具体的に示す必要性について、市の見解を問う。

答 市内のプロ演奏家等約40名に聞き取り調査を行い、教室が開けず収入が大きく減少したとの話を聞いた。現在、市に対する支援の要請は特になが、今後、要請・提案等があれば、文化活動の活性化の方策を相談していきたい。

市民会館等は、6月1日から勝山市版「新しい生活様式」に適合するよう各施設の使用基準を定め、一部、利用を再開している。県内外の感染状況等を確認し、徐々に通常の状態に近づけていきたい。

問 コロナ災害で市民生活の困窮が予想され、受給額の少ない年金者や雇用調整で仕事が減った非正規社員、売り上げの激減した自営業者など、国保加入者にとって、国保の集金は、これまで以上に厳しいものになる。

各課が総力をあげて、市民救済の提案や制度・政策を作り実践しその評価を得る中で、3億5000万円以上の基金がありながら、加入者救済の値下げは考えないという国保担当課は、市民加入者を救済する気持ちがあるのか。

答 政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、国の責任による国保税、国民年金保険料等の免除等の決定を踏まえ、早期に「勝山市税減免規則」の改正を行い、減免制度や猶予制度において対応したいと考えている。周知については、広報紙やホームページ、窓口の掲示チラシ等で行っている。

引き続き、相談にいられた方に対して親身に対応していきたい。

山田安信
議員
日本共産党



○コロナ対策に必要な緊急課題について ○「新しい生活様式」に合わせた勝山市の政策の見直しについて

その他の質問

・コロナ危機が問い直した「常識」と「制度」について

問 観光産業は世界的な危機であり、市の観光事業を見直すべき。

①道の駅隣接の産業団地は、具体化している「農家レストラン」と、見通しのないホテル等の事業を切り離してリスクを回避すべき。

②市役所前駐車場横の土地を市が購入して、観光まちづくり会社が建物を宿泊施設にする計画は中止すべき。

答 ①近年勝山市が行ってきた注文造成方式では、企業の進出決定後に産業団地を造成するため、企業が求めるスピード感に対応できず他市との競争に遅れをとることがあった。交通の利便性が高い道の駅隣接地に先行投資によりエリア全体の整備を行い、勝山市に新しく目を向ける企業や施設を積極的に誘致していきたい。

②現時点では※BCPにより協議を中断している。本事業については、市議会との協議を前提に進めていきたい。

※BCP：事業継続計画

問 ①中学校の統廃合計画には文部科学省の「学校の新しい生活様式」は全く考慮されていない。

スクールバスは感染の危険が大きくなる。計画を再検討すべきではないか。

②市内の全小中学校には20人程度の授業ができる教室があり、タブレット活用で在宅学習、国際交流等の全国先進モデルにできるチャンスだ。「小規模校を生かして教育環境、日本一」を目指すべきではないか。

答 ①「感染防止のための対策」と「能力を磨き・伸ばすための教育環境」は次元の異なる課題であり、中学校の再編と中高連携を目指す現在の方向性の再検討は考えていない。スクールバスは、新たな基準等ができればそのルールに沿って運行することになる。

②中学校においては、生徒が磨き合うことができる学校規模が必要との観点から、勝山市の教育環境の向上を目指していく。

常任委員会報告

予算委員会

■今定例会の審査結果

議案第7号 令和2年度勝山市一般会計補正予算（第3号）を審査し、可決しました。

ふるさと農林水産物等詰め合わせ 発送事業業務委託

コロナ禍により帰省が難しい県外の勝山市出身者などに対して、お中元の時期に道の駅で販売する「ふるさと勝山」の農林水産物を送る事業です。1人500円を徴収し、3000円相当の詰め合わせを400名限定で受け付けます。（1人1箱まで、400名を超えた場合は抽選）

勝山市ふるさと回帰U・イターン 就職等奨励金

勝山市への移住を促進するために策定された奨励金事業です。これまでのU・イターンに加えて就職等と定めることで対象者を増加し、より多くの方々が利用しやすい奨励金事業となりました。

当事業を通じて、ふるさと回帰を促すとともに、より一層帰りたい勝山、住みたくなる勝山の構築に努めていきます。

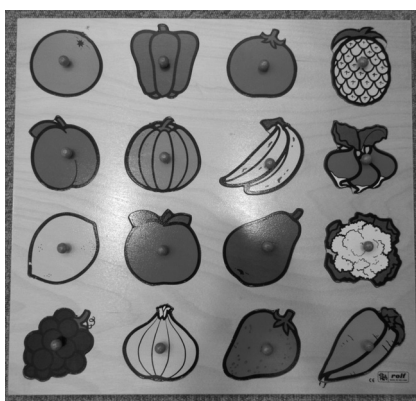
小中学校へのタブレット端末導入

文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、市内小中学生に対してタブレットPC端末を導入します。小学校に539台、中学校に559台、計1098台となります。

議員からは、市内の子供達からも早く導入してほしいという声も上がっていたという意見が出ました。

母子保健事業費

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、福祉健康センター「すこやか」の健診室の環境整備として、機械器具購入費に54万4000円を予算化しました。議員からは、どのような機械器具なのかとの質問があり、幼児用の「健診スクリーニング用パズル」等であるとの説明がありました。



健診スクリーニング用パズル

総務文教厚生委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案8件について全て可決し、陳情1件を不採択としました。

消防緊急通信指令システムの購入契約の締結について

平成22年度に導入したシステムが経年劣化したことから、新たに当該システムを購入するものです。契約金額は8745万円。

従来のシステムとの大きな違いは、多言語対応（5か国語）が可能となり、外国の方からの通報にも的確に対応することができるようになりました。また、視覚・聴覚障がい者対応もスムーズになり、前もって登録されている方からの通報がワンストップ対応となっています。

勝山市育英資金特別会計補正予算について

高校生・大学生等対象の特別育英資金制度で、12万円貸付可能で、卒業時の返還は半額の6万円が減免措置されるというものです。新型コロナウイルス感染によって、高校・大学等の生活に困窮を強いられている学生のために一時しのぎ金ですが、生活の足しに制度を特別に設けたものです。6月18

日現在で、600人ほど（全体の約6割）の申請が出されています。

議員からは、該当者全員に知れ渡っているのかどうか危惧されるとの意見があり、市は、夏休み・お盆など帰省時にあわせた広報も考えたいとのことでした。

「湯ったり勝山」について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策が難しいため、市から「湯ったり勝山」を長期休業したい旨の説明がありました。

その理由は、①高齢者の健康づくりのための拠点施設としての事業再開の目途が立たず、健康の駅としての機能が維持できないため②更衣室が狭く、構造上、感染症対策のための換気が十分にできないため③感染のリスクが高い高齢者の利用が3分の2以上であるため、とのことでした。

議員からも悔やまれる意見が出されましたが、高齢者の介護予防事業のあり方を真剣に検討すべきとの議論が交わされました。



建設産業委員会

■今定例会の審査結果

審査の結果、議案3件について全て可決しました。

令和2年度勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について

4月に北郷町伊知地・坂東島の農集排水処理施設の流量調整槽の水中攪拌装置が老朽化により機能が低下し、修繕費を流用して更新することとしたが、本補正予算にて整備工事費として151万8000円が計上されました。

勝山市水道水源保護条例の一部改正について

一昨年冬の断水の教訓を基に、水道水源の保全に関し、水源保護地域において届け出が必要となる対象事業の範囲についての規定や市民の方々に改めて節水の協力を求めるため、条例の一部を改正します。

字の区域の変更について

土地改良による県営土地改良事業、中山間地域総合整備、勝山地区の区画整理事業に伴い、平泉寺町大渡、平泉寺町小矢谷、野向町北野津又地区の字の変更を行います。

特別委員会報告

誘客拠点整備に関する特別委員会

6月20日にオープンした道の駅の状況や、道の駅隣接地の整備について報告がありました。

誘客拠点の整備に関しては、これまでさまざまな調査、研究に努め、理事者とも議論を重ねてきましたが、本特別委員会の設置目的である3つの拠点整備（花月楼、ジオタミナル、道の駅）が終了しましたので、今期定例会をもって廃止することを申し合わせました。

議会改革特別委員会

議員定数については、新型コロナウイルス感染のために開催が遅れている、有識者を招いての学習会や団体等との意見交換会を早急に実施する中で、さらに議論を交わし、報酬等を含めて総合的に判断することとします。

また、タブレット導入については、議会内や理事者側との情報共有やペーパーレス化など以外に、リモート会議なども視野に入れ、デモの実施や先進事例などを学習する中で、早急な導入に向けて鋭意努力していくことを確認しました。

令和元年度政務活動費各会派の収支状況

令和元年度(4月～8月)政務活動費各会派の収支状況

		市政会	創政会・公明※	立志会※	日本共産党	新風会・公明※	安居 久繁※	倉田 源右工門	乾 章俊※
		5名	2名	3名	2名	7名	1名	1名	1名
収入	政 務 活 動 費	750,000円	120,000円	180,000円	300,000円	630,000円	60,000円	150,000円	60,000円
	預 金 利 息	1円	0円	0円	1円	0円	0円	0円	0円
	合 計	750,001円	120,000円	180,000円	300,001円	630,000円	60,000円	150,000円	60,000円
支出	調 査 研 究 費	299,510円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	研 修 費	59,910円	0円	0円	0円	0円	0円	75,726円	59,910円
	広 報 費	0円	0円	295,398円	278,923円	448,474円	0円	0円	0円
	広 聴 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	要 請・陳 情 活 動 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	会 議 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	資 料 作 成 費	19,776円	0円	9,166円	0円	38,389円	0円	6,628円	0円
	資 料 購 入 費	98,000円	22,913円	0円	30,930円	54,222円	13,195円	16,262円	0円
	人 件 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	事 務 所 費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	合 計	477,196円	22,913円	304,564円	309,853円	541,085円	13,195円	98,616円	59,910円
政 務 活 動 費 充 当 上 限 額		477,196円	22,913円	180,000円	300,000円	541,085円	13,195円	98,616円	59,910円
残 額 (返 還 額)		272,804円	97,087円	0円	0円	88,915円	46,805円	51,384円	90円
預 金 利 息 返 還 額		1円	0円	0円	1円	0円	0円	0円	0円

- ・支出額が政務活動費の収入額又は政務活動費充当上限額を上回る場合は、残額（返還額）を0円と表記しています。
- ・政務活動費取扱預金利息が0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。
- ・政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

※「立志会」、「創政会・公明」、「安居議員」、「乾議員」は5月10日付けで新会派「新風会・公明」を結成したため、それぞれ4月5月分まで交付し、「新風会・公明」には6月から8月分を交付。

令和元年度(9月～3月)政務活動費各会派の収支状況

		新風会・公明	市政会	市民の会	日本共産党
		7名	4名	3名	2名
収入	政 務 活 動 費	1,470,000円	840,000円	630,000円	420,000円
	預 金 利 息	0円	0円	0円	1円
	合 計	1,470,000円	840,000円	630,000円	420,001円
支出	調 査 研 究 費	0円	269,894円	0円	0円
	研 修 費	121,190円	91,120円	0円	0円
	広 報 費	692,299円	92,651円	121,000円	273,340円
	広 聴 費	0円	0円	23,910円	0円
	要 請・陳 情 活 動 費	293,144円	184,222円	139,742円	0円
	会 議 費	0円	0円	0円	0円
	資 料 作 成 費	72,418円	23,153円	11,318円	67,141円
	資 料 購 入 費	150,096円	128,261円	31,837円	86,235円
	人 件 費	0円	0円	0円	0円
	事 務 所 費	0円	0円	3,278円	0円
	合 計	1,329,147円	789,301円	331,085円	426,716円
政 務 活 動 費 充 当 上 限 額		1,329,147円	789,301円	331,085円	420,000円
残 額 (返 還 額)		140,853円	50,699円	298,915円	0円
預 金 利 息 返 還 額		0円	0円	0円	1円

- ・支出額が政務活動費の収入額又は政務活動費充当上限額を上回る場合は、残額（返還額）を0円と表記しています。
- ・政務活動費取扱預金利息が0円の会派は、預金利息の発生しない決済用預金口座で管理しています。
- ・政務活動費取扱預金利息についても市に返還しています。

臨時会議案一覧（令和２年５月）

■ 表決を行った議案

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第１号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第２号	令和元年度 勝山市一般会計補正予算（第５号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予算	承認
議案第３号	令和２年度 勝山市一般会計補正予算（第１号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予算	承認
議案第４号	令和２年度 勝山市一般会計補正予算（第２号）に関する専決処分の承認を求めることについて	予算	承認
議案第５号	勝山市税条例等の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承認
議案第６号	勝山市税条例の一部改正に関する専決処分の承認を求めることについて	総務文教厚生	承認

表 決 結 果

※意見が分かれた案件については、起立による表決を行っています。

案 件	投票 総数	投票数		松本 聖司 郎	中山 光平	安岡 孝一	富士 根信子	高間 清一	久保 幸治	竹内 和順	吉田 清隆	下牧 一郎	近藤 栄紀	下道 恵子	丸山 忠男	松山 信裕	梶山 寿憲	乾 章俊	山田 安信
		賛成	反対																
山田議員からの緊急質問要請の動議	15	4	11	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	○
議案第１号の可決について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×

定例会議案一覧（令和２年６月）

■ 表決を行った議案

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第７号	令和２年度 勝山市一般会計補正予算（第３号）	予算	可決
議案第８号	令和２年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	総務文教厚生	可決
議案第９号	令和２年度 勝山市育英資金特別会計補正予算（第１号）	総務文教厚生	可決
議案第１０号	令和２年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	建設産業	可決
議案第１１号	勝山市国民健康保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第１２号	勝山市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第１３号	勝山市手数料条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第１４号	勝山市介護保険条例の一部改正について	総務文教厚生	可決
議案第１５号	消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型）の購入契約の締結について	総務文教厚生	可決
議案第１６号	消防緊急通信指令システムの購入契約の締結について	総務文教厚生	可決
議案第１７号	勝山市水道水源保護条例の一部改正について	建設産業	可決
議案第１８号	字の区域の変更について	建設産業	可決

請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第１号	特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続のための協議を県に求める陳情	総務文教厚生	不採択

表 決 結 果

※意見が分かれた案件については、起立による表決を行っています。

案 件	投票 総数	投票数		松本 聖司 郎	中山 光平	安岡 孝一	富士 根信子	高間 清一	久保 幸治	竹内 和順	吉田 清隆	下牧 一郎	近藤 栄紀	下道 恵子	丸山 忠男	松山 信裕	梶山 寿憲	乾 章俊	山田 安信
		賛成	反対																
陳情第１号の不採択について	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×

○＝賛成、×＝反対、不＝不在、議長＝議長職(通常は採決に加わらない)



道の駅「恐竜溪谷かつやま」OPEN！



道の駅にある恐竜モニュメントとすべり台

議会だより編集中の6月20日に、道の駅「恐竜溪谷かつやま」がオープンしました。

中心市街地や周辺観光地への周遊を促す拠点と、道路利用者の休憩施設として整備されたこの施設は、コロナ災害の影響で約1ヶ月オープンが遅れましたが、感染者の減少と共に県外への移動自粛が解除されたタイミングでのオープンとなりました。

閉鎖・休業の施設店舗も少しずつ再開され、観光客も訪れるようになる中で、勝山市のこれからの観光の拠点として、その機能を十分に発揮していただけるよう、市民と共に議会も応援したいと考えています。

（久保幸治 記）

議会日誌

4月24日	議会運営委員会、全員協議会、建設産業委員会	19日	勝山市議会災害対策支援本部会議、予算委員会、
5月15日	緊急会派代表者会議		全員協議会、議会広報特別委員会
19日	勝山市土地開発公社理事会	20日	道の駅完成披露の集い
22日	勝山市議会災害対策支援本部会議、	23日	誘客拠点整備に関する特別委員会、
	議会運営委員会		議会改革特別委員会、議会運営委員会
27日	議会運営委員会	25日	避難所開設・運営説明会（感染症対策）
29日	全員協議会、5月臨時会本会議、予算委員会、	26日	建設産業委員会、全員協議会、本会議
	総務文教厚生委員会	7月6日	福井県市町総合事務組合議会、
6月1日	県下一斉街頭指導		議会広報特別委員会
9日	本会議、全員協議会	9日	議会広報特別委員会
12日	議会広報特別委員会	10日	勝山市表彰審査委員会
15日	本会議（代表質問、一般質問）、議会運営委員会	13日	夏の交通安全県民運動街頭監視、
17日	緊急会派代表者会議、総務文教厚生委員会		勝山市議会災害対策支援本部会議、全員協議会
18日	建設産業委員会、建設産業委員会協議会		

編集後記

世界中に拡大した新型コロナウイルス感染により、日常の生活様式が変わってしまいました。

議会においても、今回特集にもあげたように対策支援本部を立ち上げ、変化する生活環境にスピード対応できるよう議論を活発に出しあってきました。今後も感染予防意識をもって勝山市民の生活向上に努めます。

（富士根信子 記）

議会広報特別委員会：委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治